

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月7日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 3270100740 | | |
| 法人名 | ティー・シー・プラネッツ有限会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム遊空間 | | |
| 所在地 | 島根県松江市南平台25-1 (電話) 0852-26-0670 | | |
| 評価機関名 | NPO島根介護ネット | | |
| 所在地 | 島根県松江市白潟本町43番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年12月16日 | 評価確定日 | 平成21年1月7日 |

【情報提供票より】(20年11月27日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|-------------------|------|
| 開設年月日 | 平成14年4月10日 | | |
| ユニット数 | 1ユニット | 利用定員数計 | 9人 |
| 職員数 | 10人 | 常勤3人, 非常勤7人, 常勤換算 | 6.2人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|---|------|
| 建物構造 | 木造り | | |
| | 2階建ての | ～ | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------|----------------|---------|------|
| 家賃(平均月額) | 35,000円 | その他の経費(月額) | 15,000円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 350円 | 昼食 | 450円 |
| | 夕食 | 450円 | おやつ | 50円 |
| | または1日当たり | | 1,300円 | |

(4) 利用者の概要(11月27日現在)

| | | | | | | |
|-------|----|------|----|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 0名 | 女性 | 9名 | |
| 要介護1 | 2名 | 要介護2 | 2名 | | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 0名 | | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | | |
| 年齢 | 平均 | 87歳 | 最低 | 81歳 | 最高 | 91歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------|
| 協力医療機関名 | 松江記念病院 |
|---------|--------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地の一角にある民家を改修して作られたホームである。管理者の「一人にしない。寄り添ったケアを」の考えのもと、利用者は日々役割を持って自分のペースで生活を楽しんでいる。毎日の演歌を歌いながらの体操や散歩の日常化等で利用者の心身の活性化に取り組んでいる。職員は自治会の忘年会や総会に参加する等、地域住民やボランティアとの協力関係も着実に前進している。意欲的な管理者や職員のもと、今後大きな飛躍が期待できるホームである。

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善課題として地域密着型としての理念、地域とのつきあい、運営推進会議を活かした取り組み、職員を育てる、日々その人らしい暮らし、日常的な外出、鍵をかけないケア等があげられ、管理者を中心に意識的に改善してきた。引き続きの課題もあるが意欲的に着実に取り組んでいる。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員一人あたり、自己評価票5～10項目を記入したものを管理者が面談しながらまとめた。期間が短く検討は十分ではないが、職員は介護を振り返る良い機会となったと考えている。また改善課題に取り組む中で業務改善にも取り組めた。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 利用者の様子やホームの諸行事、外部評価等を報告している。参加者からも地域状況や介護保険等の情報提供もあり意見交換も積極的である。避難訓練や地域との連携のあり方等ホーム内で検討しながらサービス向上に活かしている。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 来訪や介護計画の説明時、諸行事を案内する時等、いろいろな機会をとらえ、利用者の暮らしや健康等を報告し、意見や苦情を出してもらうよう働きかけている。家族交流会を計画したが諸般の事情で実施できなかった。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会の清掃や消火、避難訓練等に参加したり、ホームの避難訓練に地域住民10人が参加する等、協力体制が出来てきた。利用者も日常的に散歩が多くなり地域の方と交流している。地区の独居老人向けに介護や認知症予防レクレーションの講義をする等地域貢献にも積極的である。地域向けの便りも来年1月から発行配布予定である。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組み を期待し たい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----------|---|---|------------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 今掲げている理念をもとに全職員で作った「めざすべき介護の心得」35項目がある。これらを地域密着型サービスと結びつけ、利用者や職員にとって分かりやすい理念にしようと管理者や職員で検討中である。 | ○ | 職員一人ひとりの介護への思いや今現在実践されている地域との連携による支援内容等が盛り込まれた独自の理念が出来ることに期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念にもとづいて作った支援項目が毎月のチャレンジ目標としてあげられ、実践できたかどうかを振り返っている。また、理念を「人生応援歌」として位置づけ、利用者と職員で一日一回替え歌で歌っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会の清掃や消火、避難訓練等に参加したり、ホームの避難訓練に地域住民10人が参加する等、協力体制が出来てきた。利用者も散歩中にランドゴルフをしている住民から声をかけられたり、気軽に雑談したりと交流している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員一人5～10項目を自己評価票に記入したものを管理者が職員と面談しながらまとめた。期間が短く全職員の検討が十分ではないが、職員は介護を振り返る良い機会となったと考えている。外部評価結果から改善課題にも取り組んできた。 | ○ | 改善課題は年間計画を立てて取り組むとともに自己評価についても準備期間を十分に取って進めて頂きたい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者の様子やホームの諸行事、外部評価等を報告している。参加者からも地域状況や介護保険等の情報提供もあり、意見交換も積極的である。避難訓練や地域との連携のあり方等ホーム内で検討しサービス向上に活かしている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 担当者とは生活保護や金銭管理、家族の利用者への支援のあり方等、いろいろな面で相談できる関係にある。市とともに利用者のサービス向上に努めている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者は近隣の方がほとんどである。来訪や介護計画の説明時、諸行事を案内する時等、いろいろな機会をとらえ、利用者の暮らしや健康等を報告している。二ヶ月に一回、写真付きのお便りを発行している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議や入居時の説明をする場を使って、意見を出してもらえるよう働きかけている。家族交流会を計画したが実行には至らなかった。 | ○ | 法人内のグループホーム合同の家族交流会が計画されている。家族アンケートとともに実現して頂きたい。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 馴染みの関係を大切にしている、原則異動は行っていない。 | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 昨年の外部評価結果を踏まえ、年間学習計画を立て毎月の職場会議で時間を取って学習している。管理者等の専門研修を優先したため、職員の外部研修の参加は少ない。資格取得の支援もある。 | ○ | 現在の職場内の年間学習計画の確実な実施と外部研修の機会を増やして頂きたい。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者はグループホーム部会の会議に参加し他同業者と交流したり、情報交換や施設見学を開始したが、職員はこれからである。 | ○ | 法人のグループホーム間の交流が計画されているが、この実現とともに他同業者との相互訪問を実施することでサービス向上にも取り組んで頂きたい。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者や家族に見学や体験入居を勧めている。入居後は家族に電話をかけてもらったり、馴染みの物を頻回に持参してもらったり等、早く慣れてもらうようお互いに協力し合っている。また、利用者にも子機を使って家族に電話してもらったり工夫して支援している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者の得意分野を活かして、日々の家事等を職員と一緒にやっている。歌謡曲を歌いながらの体操や毎日散歩をすることで体が動くようになってきた。職員は物を大事にすること、熱湯に潜らせて干し柿を作ること等、利用者の「知恵袋」から教わることが多い。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 関係者や入居時の聞き取りで把握している。日々の支援の中で、利用者の言動、表情や利用者のつぶやき等を「気付き」として記録し意向の把握に努めているが、記録が集中されていなく分かりにくい。 | ○ | 記録の工夫を期待したい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者や家族の要望や意向を日々の支援の中で聞き、職員全員で検討しながら具体的で細やかな介護計画が作成されているが、生活歴や趣味等への支援項目が少ない。利用者自身が計画を読み上げて確認するケースもある。 | ○ | 日頃行なっている利用者の出来ることや要望、生活歴に沿った支援を計画として表記して頂きたい。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 一ヶ月に一回の見直しが行われ、必要に応じ現状に即した内容に変更している。三ヶ月目の見直しで関係者と話し合いながら介護計画を作成し、家族へ説明している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 定期受診は原則家族となっているが、緊急時には柔軟に対応している。入院の短期化に向け相談員と話し合ったり、医療連携体制加算を取得して健康管理したり、法事等の特別な外出も支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 施設や病院から入居してくる利用者が多く、協力医療機関と連携して受診支援をしたり往診してもらいことが多い。かかりつけ医との関係は継続され、眼科や耳鼻科等で受診してもらっている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者や家族が不安を持たないよう、重度化した時や急変した場合には、都度思いや要望の把握に努め、かかりつけ医に相談しながら支援している。諸規定にターミナルケアの考えが混在した記述がある。 | ○ | 運営規定の記述を工夫して頂きたい。また、住み慣れたホームも選択肢の一つとして考えて頂きたい。早い段階からかかりつけ医や家族職員等関係者と話し合いながら対応方針を作成して頂きたい。 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 主任やリーダーが日々の支援を通じて点検する等誇りやプライバシーに配慮している。記録も気になる記載があれば都度職員間で話し合っている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 酢の物や煮物づくり、居室の掃除、草取りや落ち葉拾い、花植え等、1人ひとりの体調等に配慮しながら、利用者のペースを大切に支援を心掛けています。居室に洗剤を置き、自分で洗濯し干している利用者がいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 副菜の一品を作る、味見をする、片付け、食器を拭く等、利用者は職員と協力し合いながら食事を楽しんでいる。職員は利用者に薬や名前を読み上げ確認しながら服薬支援をしたり、主食だけを残した人に対し、ふりかけを掛ける等細やかに支援していた。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 体調や希望により入浴支援しているが、就寝前の支援は体制上から困難である。利用者の好みの温度も把握される等、生活の中の楽しみとなるよう支援している。浴室外を気にせずゆっくりと過ごせるよう暖簾を取り付けた。 | ○ | 楽しみの一つとなるよう工夫して支援されているが、入浴時間帯や回数等再検討して頂きたい。また、重要事項の記述も改訂した方が望ましい。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 自室や外回りの掃除と草取り、洗濯、裁縫、魚の処理、野菜の下処理、味見、食器拭き、テーブル拭き等、利用者の出来る力や得意分野を活かし支援している。職員は常に感謝の言葉を表している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気や体調に合わせて午前中に散歩することが習慣化した。車椅子使用や歩行困難者にも積極的に外に出てもらおうとスロープを設置した。散歩を通じ、心身を活性化したり、地域住民との交流も多くなった。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関は朝9時半から午後7時まで鍵をかけていない。民家を改修して作ったホームでもあり、玄関が職員が常時いる場所から死角であることからセンサーを付けて対応している。 | ○ | 玄関の開錠時間を長くするよう検討されているが、利用者の自由な生活の保障のため是非実現して頂きたい。見守りの強化や勤務の工夫、地域の方の協力づくりにも取り組んで欲しい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ホームの避難訓練に地域の方10人が参加したり、自治会の避難、消火訓練には職員が参加する等相互の協力関係が進んでいる。職員は心強く受け止めている。 | ○ | 非常時の持ち出し品を定期的に確認することが計画されているので実施して頂きたい。また備蓄品を確保して頂きたい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事や水分の摂取量は把握記録されている。利用者の体調不良等状態に応じて、食べたいものを聞き出したり、食事形態も工夫して支援している。食事改善ボランティアとの交流も始まった。 | ○ | 朝食時の主食は利用者の希望を取り入れ柔軟に対応して頂きたい。また食事改善ボランティアとの協力関係の前進に期待したい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関前は庭があり家庭的な植栽となっている。玄関ホールにはソファや椅子が置かれ、来訪者との懇談に活用されている。観葉植物も多く金魚が飼育されている。居間には古箏や洗濯干し台、加湿機等が置かれ生活感のあるつくりとなっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の使い慣れた洋服ダンスや衣装ケース、ベッド、仏壇、本等が持ち込まれている。自室で洗濯洗剤やシャンプー等を自己管理している利用者がいる。加湿機や濡れタオルで湿度にも配慮されている。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。